

大井バプテスト教会の現在を知り  
将来を考えるためのわかちあい

## 2回目 <教会学校>



大井バプテスト教会 長期計画委員会

# 教会学校 大井教会での歴史

## 教会学校の始まり

教会学校の始まりは開拓伝道当初からの日曜学校と呼ばれていた時(1931年)に遡る。大谷賢二、岸田愛治牧師によって日曜朝と木曜午後、子ども会のような形式で集会が開かれていた。

# 戦後の出発

1946年4月18日、戦後の初穂として12名の方が受洗したところから始まる。当時、焼け野原の中で人々は他をかえりみる余裕などなく、皆、自分一人が生きることには精一杯であった。こうした状況下で、純真な子どもたちの心がむしばまれていくことに心を痛めた救われたばかりの信徒たちが、子どもたちに主イエス・キリストを伝え日本を立ち直らせたという祈りの中から**日曜学校**を始めた。当時はまだ、生涯教育というビジョンは確立しておらず、対象は子どもに限られていた。



# 全年齡層への展開

1959年4月12日成人科がスタートした。絶えず聖書を学び聖書に聞く姿勢を持ち、信仰生活を歩んでいく事が始まった。

その後、1964年大谷賢二牧師が渡米され、全年齡層での教会学校の充実に、新鮮な驚きを受けてこられた。

教会学校 = 小学科のイメージから脱却し生涯教育と言うビジョンの確立へと導かれていった

# 教師、助手、書記 働きと分担の訓練

1971年以降、書記活動の発展により生徒の情報を整える事が出来るようになり、伝道とケアの充実が図られていった。

助手活動は、新しい教師を育成していくのに大切な訓練の場として用いられている。

# 附属あけぼの幼稚園との連携

1949年に設立された教会附属あけぼの幼稚園との連携は教会学校の発展に種々の面で良い結果をもたらしている。

それは、卒園生児をCS小学科で万全に受け入れ、少年少女科へとつなげられており、小学科での助手の奉仕者も多数育っている。また、在園生、卒園生の保護者も第一礼拝へとつながり、多くのバプテスマ者が与えられてきた。

# 教会音楽の働き

小学科、第一礼拝科における

教会音楽の働きも

なくてはならない大切なものである。

# これからの教会学校

以前の成人科は青年科、壮年科、婦人科と分かれていたが、2017年より成人科として一本となった。当時も奉仕者不足など諸問題があったのだろう。

そこへ2020年から新型コロナウイルスの影響で突然活動中止となり、組織の強制的変換を余儀なくされた。

# これからの教会学校

コロナの影響が弱くなった現在ではCSの活動を再開しているが、この3年間で取り巻く環境は大きく変わった。特に成人科は今までの在り方には戻れないだろう。現在では学びを必要とするニーズに合わせて数クラスが再開している。生涯教育という観点から考えると、全ての教会に集う人々に、聖書によるみ言葉の学びは重要だと考える。

# 教会学校の目的

『教会学校の目的は、その活動を通して、すべての人々がイエス・キリストを信じる信仰告白に導かれ、教会を形づくり、生の全領域において主に聞き、主を証しする生活を確立していくことにある。』

(日本バプテスト連盟1999年改訂)

# わかちあいスケジュール

- 6月25日 「教会学校」についてのわかちあい
- 7月30日 「教会音楽」についてのわかちあい
- 8月27日 「あけぼの幼稚園と教会」についてのわかちあい
- 9月24日 「私たちの信仰と教会」についてのわかちあい
- 10月29日 各科で話し合い①
- 11月26日 各科で話し合い②
- 12月24日 アンケート実施
  
- 2024年1月 まとめを発表

**※第4、5週礼拝後の予定しています。  
但し、教会スケジュールにより日程が変更する場合がございます。**

# わかちあいを終えた私たちは…

- ・ 奉仕者として立てることに心から喜びを感じられる。
- ・ 個人の祈りと「私たちの信仰と教会」を大事にしながら、伝道の間としての教会をより活かすことができる。
- ・ 今よりも「伝道のために新しく何かをはじめよう！」と ワクワクできる。



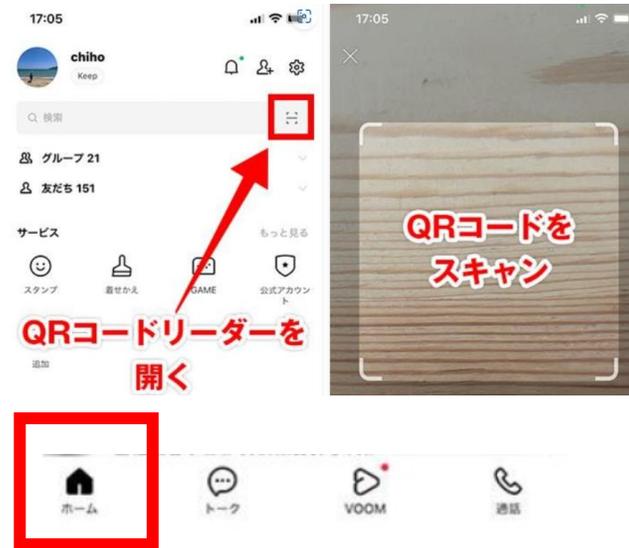
**Oi Baptist Church**



# Lineご利用できる方 長計 Line登録お願いします

## Lineで出来ること

- ・資料の事前確認
- ・スマホでアンケート入力
- ・わかちあい情報共有
- ・ペーパーレスでコスト削減
- ・環境にやさしいエコ活動



紙の資料もご用意しております